出内閣の

質質

東京特電四日泰』間田内閣の顧いは多分四日をまでに出版から ので見られるが前内閣の閣僚中閣 日外根人部低・戦性、、「神経根も内 日外にしているが前内閣の閣僚中閣 が立るが前内閣の閣僚中閣

れるであら

園公の所信を中

らなかつた

齋藤首相の感想談

の組閣奏稿に對し土肥原

藝術家か俗人かつろ

「まあ私に任せてお聞きなさい

上肥原機關長談

島政二郎

(47)

上作なご

軍縮を控へ

更に展開

入藏省事

「すぐお風呂へ選入れるかい?」

齋藤首相と會見し

特專 許賣 N

一生安心ナ新職業」

(規則進呈)

他デ絕對學ビ得ナイ

置さも打合せななも機能に決定すの援助を求めると同時に、陸軍方

石を採出すだらうさ 撤職されて を際軍の隷金部成のために新陸相

の間田大将乗り出す。非常時局の振常者を

時を扱っての強力内閣の必要を力 にしま、六年の非常

が解け、選入つて来た女中を呼び留めた。 を関だから、難びの口かなんが掛かって来た他にして、解らせてよ」

前途のため慶智

岡田内閣は

或は繁皮野蘇問題の荒海あり。

中間內閣

野田代議士談

日本

有馬 青山 太縄 三医学博士 劉製 大阪市東成區中本町四五三 弘 文

飛銃特曹 大日本電醫學校園於照照整題 天曜日へ手を掛けたお悩は、歴

海へ! 山へ! 業 しい ブラン は 出来ましたか……では 12一万 百 章 を お居なく で 全 ¥.15 ¥.26

れてゐる女中は、湯上りのお梅に

凝內閣組 尚田海軍士 西園寺公けさ参内奏薦

園公入京直に参内

最初の元老重臣會議

大將奏薦に決定

のて居りません。相関本部はまだ決 岡田大將略歷

麥內前

力針協議

觸

主物の云つてゐるこ

外科的結核治療状元一名の

眼科的結核シ同時ニ東人ノ健康

肺結核ノ中期供予ラテー金属

肺結核ノ初期の要せまトイペン全治療機力五%

全龍を敷の音楽士を得たる歌告練日本國内の成績

を意識が利利

「いや、便を除にして、詩人さ云

生泌殖尿

結 枝 / 初期ニャ

皮

清 結 核 治別カアマテ島面供力

気管支端 息 治療技士九なデ出等

寿 蓮 其 他 ニョルタ帝の世代人の

肋膜

大学 大学 連に快楽せシムル全

歴学生相撲

場響生

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は</

一囘の大爭覇戰

廿八日滿鐵運動會相撲部で

滿洲相撲聯盟が招聘して

日

- 天観響に際し奉脱の グラムな送つて来るこさになのナショナル放送者 放送し、アメリカからもプロ グラムな送つて来ることにな

闽立祭を祝し

日米交換放送

明早朝・挨拶は徳川公

一方が動については軽点部の汚物れに力を得て飲意物出中である、 反應 な字るに悪り、

南の風雲雨模様 ・ 本潮(午前四県岩一五分分 ・ 本瀬(午前四県岩一五分分 ・ 市本三五分 ・ 市本三五分

品商 四三日日 范 日 酒 三 割 引 大連イワギ町 西田 割 引

のトンセーパ百を機の此スピーサ大

血と判明

刑事課鑑識係の分析

天気予報

初日(旺)

能 灰 大

然小刀の血は

なく感急手襲をほど 経地地震船の駅に続しる吹きに撃撃した。 大台に 大台では 一時島港現場に急続したのからを以下戦闘 り 職家艦表が同様突厥のため午後 と 一時島港現場に急続した から と 一時島港現場に急続した

夕今

7

ります。

ました。

DELCO

連鎖街

の御洋裝にて

新生活者の末梢神総な尖らす郷 一部に悪誠にはいては野歌の血 会大連悪保安原岩井主任の手で楽 く大連悪保安原岩井主任の手で楽 られ、先づこれが前 ら研究が患められ、先づこれが前 ら研究が患められ、先づこれが前 ら研究が患められ、先づこれが前 をといる。

騒音防止の

研究依賴

品揃び

盛夏用婦人服地の新しい 柄が毎日續々入荷して居

夏は美しく凉じいデルコ

生地もデルコ仕立しデルコ

第22227看

乘組員に異狀なきも詳細不明 New Materials

返品返金自由·古带道具

清本商会 半点り帯場、洋中日中へどだる 其他即贈答用として格好の日豊富・ 小問物類 命



郎 太 膀 吹 學一為三 込 行洋森 斯姆迪市迪大 二三一四長東

AINTERNATION PROPERTY OF THE P

軽快で野趣に富みるかも換紙に申分なる近代人の感覺を巧にキャッチも介着者の 特 英純パマアーシャルパナマーシャルパナマーシャルパナマーニー 九七一五(代)話費

夏期聚落の日

牧城子ご熊岳城

(=)

技術してるます。今のさころ人 変の手不足で十分な監督が出來 ないが職業がパスすればそんな 非難は解情するものと期待して ある

殉職警備員に 破格の弔慰 満鐵新例を開く

策動にも平静

MORI YOKO

滿洲里の日滿人

新味な経ばたことは今後の野郷道 の土無にも開催することでその英 満郷が朝春戦の帰職に際してこの たがいないではなっていなったが

清洲関に追随の銀分濃厚の際日満 つたらといが最近常地購入が王道 つたらといが最近常地購入が王道 のたらといが最近常地購入が王道

語

子の機械的テロ手を配行の流言中子の機械的テロ手を配行の流言中

『上海三日養園通』雷地の表着は

般市價よりも

久しく織く不思議

な現象

○工業量 三

6

れる大汽

今度は益進丸が外國船と衝突

酷暑と大旱 拡 大旱 大旱 大旱 大旱 大旱 大旱 大旱 大旱

木村縠氏新京到着

下って来て講溯に入り又大連、安

を満たして行かればならぬので献 大質な手撚へする職像上デリー

て極く野策を

研究して ねるが意外の方

の非常時續

のご見られてゐる

一番地飲食店。カツキの女粉を買って雪地飲食店。カツキの女粉を買っていまして市内信息町百十 女將遂に留置



理二二六四六番

務勤院医男岩元

良中いの綿

至の

重

央館七月 と演

藝。

大二郎の「奴かがみ山 祇園囃子」と は明本の終版はあまりにも映画的に なりすぎた脚色にある、「大学の 春度が」までひつばり出したこと 等は映画にゆきりは興へてゐるが いったらを遺憾性らコメディ・

現すれて殺人を 老若練手

元無洋行

藤本合金工業所

ヴァルヴ界の草命兒

特許不二グローゲーヴアルヴ現はる SECTION GLOGAYVALVA PATENT NO 147681

胃腸 凡ゆる症状の適薬あり慢性胃肠病のAMIT剤併用

7月7日 土 後7時 8日 日 早 朝 同 随 後7時 9日 月 前6時 阿波瀬共同18共同九 大人 6圖50鍵 小人 4圖

忘

(154)

市川春代・相良愛子・杉鈴木傳明・夏川靜江・田

座右に

ありて 日日是好日

る目とを つつて 安全剃 刀

七月 七六五 日日日 三日

中元御

化粧函人)五十銭ョッ

大連市浪速町夏川大連支店

御便利な共通商品券調進仕り候

四圓五十銭マデ

新味のある

改變には反對

西正金支店支配人談

財政政策を期待

古田鮮銀支店支配人談

時局柄首班は妥當だ

前財政策踏襲せよ

新内閣へ要望

設立計畫進捗

恋案の満洲製糖

スに付四三 | 百四十圓內外に低涨と層るが、 (さげ附き) 一〇〇キ | 毎一圓八十銭を低漆と、北洋は

今度の新税率は

重の弊な自党して、この動かるので、この動かるを活が、日本のので、この動かるので、この動かるのの政府當局が明確をあるさ思した。

概ね邦品には好意

支那政府の税率改訂

八絹近く追加

新内閣政策に對し

(四)

像じめ心構べ

生態高の減少さ

河豆搬出

舊紙幣未回收

僅々九百餘萬

回收率九割三分一厘

大豆檀落

前場市況回

◆現物前場(銀建) 大豆(裸物 出來高 九十草 出來高 九十草

鮮鐵ビ總局で

連帶運輸開

沙票强保合

る八月一日より旅客及び手小衛號・ルピンに引返し帰途に載いたて極々打合中であつたが、脳々来 なきため、三日午前九時操倫教の見込道局さの間に於て連帯運輸につい 中の大連接重機装配は復館の見込道局をの間に於て連帯運輸には大きにあります。 による機能放験のため海倫に誘摩

古澤錢

名譽副領事務

麻袋髪らず

三五三書

現株選報贈呈の端株を買たし

南滿洲鐵道

神中継次第カタログ郵送 大連市西公園町一六七 大連市西公園町一六七

홢 田之

洲 日報 (廣告部)

永井婦人醫院

力ユミ

博多屋店質店

迎歡口大

ある〈単位布度〉

を 一 三 元 一 三 元 一 三 元 一 三 元 一 三 元 六 元 一 三 元 六 元 一 三 元 八 元 二 二 一 二 三 六 八 八 四 五 元 三 一 六 三 一 六 三 一 六 三 一 六 三 一 二 三 六 三 一 二 三 六 三 一 二 三 六 三 一 二 三 六 三 二 一 二 三 六 三 二 一

近海は不味 船舶改善助成施設 實現を期待

入参同三〇 ・

遠洋底意强調

六月中海運界狀況

滿蒙毛織總會

新陣容確立

季 110m枚 1178(<10)美国金 170m枚 1178(<10)美国

◆定期前場《単位後) 今定期前場《単位後) 一次の11次の11次の11次の11次の 出來高期近三百八主處五千圓 出來高期近三百八主處五千圓 出來高期近三百八主處五千圓 出來高期近三百八主處五千圓 出來高期近三百八主處五千圓 出來高期近三百八主處五千圓 一十一時11次の18010 11100型 十一時11次の18010 11100型 十一時11次回 18010 11100型 十一時11次回 18010 11100型

電話三六九五番

◎代表展五回元曲 松尾商店 **火海上保險株式會社 高終了ノ日迄株式名** で機停止公告

編印

| 上南店

透明

歌郷長宮殿下御賦に伺候と機長 生後五時戦町が配井町の伏見歌 東京四日登園通』岡田大寿に四

潮源之株氏は四日午後齢表を提出

午後八時三十八分銀網本部を出て

を原制をなる政策の優別なくしては我庭やつて行けないから何分を原制をなる政策の優別なくして事に、 を原制をなる政策の優別なくし

機能は自分の方は今迄通り是々非の後機を乞ふ皆過べたに難し鈴木

本たその間に数多の後駅内駅運動 ながら四十齢日料理解度を押して ながら四十齢日料理解度を押して

留任と新り

鈴木政友總裁

潮次官辭表提出

地世話役から

番頭に拔擢

官僚型だが腹はガッチリ

内閣は此の日夕刻までに東部大臣 年後から祖閣工作に入つた曜日新

林陸相、大角海

相、廣田外相

の三大臣、大陸報任を見られる

新翰長河田烈君

るのであるか

あつて、蘇樹藍

留任に決定

も無速する旨を言明した まだ関田大粉より何等交遷を受け ないが同歌様は整令能伝影響する

Ut

廣田外相留任

商相留任否定

兩黨首と會見

谷別に支援懇請

東京特電四日發圖剛田

TOTAL TOTA



Ŧ

煙管旅行

大命拜受·組閣工作着手

陸、海、外三相留任決定

接に形ダクの態で最近は「君 日各地からの情報さ日常の聴

始要の平和強車な

を恐れて居り所謂強酸。 一般にある。又要疾院が、それ が、には何に多少の服がよるにはないから、結局前内閣に對するさ同 をでには何に多少の服がよる。 の配度をさるであらうが、それ である。又要疾院を強いなりる。 である。又要疾院を強いなりない。 である。又要疾院を活動の分 | 大きな | 大き

即中佐に北平までですかさ 間は さ悲鳴、そして産 北京の金米 行は経動にしないさうである

での答へて「機関長が不

◆・特務機関に着低以來無

くさ「奉天も北平

来車した特務機関の田島彦太

** はいふ、田島さんの一日もが、 田島さんの一日もが、 田島中佐は書類だけは煙管旅 りてる位であるが、凡帳前な ないのだからやせい旅行だし

通列車に続 困るよし

行はないよ」さ。 これ程のスピー に乗車して機関連站に行けば

◇…識かゞ是な聞いて「夫

ふ宮中重臣會議

恰反展列車の往復さなる識で

田島彦太

・ドアップな旅

る北平船数の第一

のである、同大将は個浦な人格者といふので舞るの家臣の意見から、「

に開かれた重臣を置けてれまでに一たもので即ち開公復一の変も与大、東京特電四日皇』四日午前宮中一下間な沙機さして此の形式を採つ 重大先例確立

職さする職大先興を抜に職立した と、福舎院設長、保護最及び前内 に、福舎院設長、保護最及び前内

ものであるさ

强力内閣は 全國民の要望

末次司令長官の意見

なく隣民が望んであ なく隣民が望んである。又無事 上申してゐる。又無事 上申してゐる。又無事 上中してゐる。又無事 上中してゐる。又無事 上中してゐる。又無事 上中してゐる。又無事 日本と既に提出

深更まで奔走 るさころだ、一九三五、六年の 様大危機を控へて一層揺瘍する 次第である、最近ワシントン及 次第である、最近ワシントン及 次第である、最近ワシントン及 次第である、最近ワシントン及 ではない、画筋の安全を期す るため、次の軍権會議にこれを 成立せしめ段ばならないのだ、 まため、次の軍権會議にこれを が立せしめ段ばならないのだ。

究・川の給へ

用的給

此凉。朝夕

青壯年諸君

王 道上 確達英 立の語

英人ドコウン

成の我る設園

備唯









洋服類鷹獎

· 養弱

にんに記 根本療法 肺食常慢 熱智性 結不便胃

更見島架务學校本科出身



部の諒解獲得 新内閣の骨組成る 人車輪の岡田大 郷職にするとのである。 が職別首様で会見して大命軍受の大家な報告し が職別首様で会見して大命軍受の大家な報告し が職別首様で会見して大命軍受の大家な報告し

魔の懸髪如何によつては組骸完成までに多少の時日を要するであらうが、鯨に軍部 方面の諒 解を見た以上は 組閣の感の懸髪如何によつては組骸完成までに多少の時日を要され、老腮腿蓋を腰間して前内臌同搬の緩跡で 脳力を救めた、砲撃と一方廣田外相の留任も確定を見たので同夜寒に終水、若腮腿蓋を腰間して前内臌同機の緩跡で 脳力を救めた、砲撃への如く隴田大粉は大車艦の活跡により大體前内閣長老の援助と軍部 大臣の留任を得ることに成功した後、四時半頃林、大角の兩前軍部大臣を交々招致して留任を懇請し、別項の如く承諾を得た後、四時半頃林、大角の兩前軍部大臣を交々招致して留任を懇請し、別項の如く承諾を得た 軍部大臣決定 し内閣書記官長就任を求め、とに とめにより河田拓務大官を招致 棚上野する暖跡を観測して後、齋藤子の

國防、外交第

義を堅持

午後十一時能者順で館見、左の即答そればわからね。『東京四日安園通』大命を採受し即明日中には組閣出

間・答・それ

組閣第一日の新首相

岡田内閣の

組織方針

者へである。 番任所大口

んな事

一切考

職本部に招致し海相留低を悲談してこの冒隅田新貨根に回答すると選下し午後五時十分大角大粉を組 難につき記上の結果留低を決談し程したに就いて神疾郷を記上して 製下に拜謁、海林としての進退間宮殿下に謁を賜はり組織の大命を 午後五時二十分代見軍令部總是宮宮殿下に謁を賜はり組織の大命を 外陸相まづ留任承諾

電車の日登園通 四日午後四 一大学の日登園通 四日午後四 がちに右手には他の愉快なつきつ 園公御殿場へ

御承知の事で懸ふで答へ入職交機 あなく午後八時五十五分齢去、 関防が計に就いては何等機る×さ 若槻民政總裁

東京四日養園通 | 鈴木珠友会標 を押した皆か告げた後、珠友会に を押した皆か告げた後、珠友会に を押した皆か告げた後、珠友会に

最適任者と

岡田大

將奏薦まで

間•

軍部大臣は決つたのではな

権職的挨拶だ

提出があったのではないか 答明日までは何も三へない

東京四日景画湯 | 若概郷底は剛 田大称さ曾見後直に大麻鈴事長、 田大称さ曾見後直に大麻鈴事長、 以て若巉線兼は直に剛田大粋な配子人間を一番の線をは、これを決定しての結果 さいふやうな事になれば成る可 と早く返答しようさいつて別れ た、民政無かち何人入れるか誰 た入れるかさいふ具種的な話は 出なかつた **账幹部會招集**

問 曹蠡前首相ご會つて組閣の方 外につき打合せたざいふではな いが 答 発達だから御挟拶に上つたま 答 御挟接に上つたのだ 間• たのだ

階、民政無機裁に對しては入間交 ※なして政友會機裁訪問は單な を機震的挨拶にさざまる。入閣 交渉がなかつたこ様へられてゐ

常いに入った、自宅が狭いので オテルに入った、自宅が狭いので になったのである

軍大権が

久現下の財票 その他に皮野斑さしのあるため歌一等を慰時間を知 時に截に歌歌歌治に称て事は軍部・開間は飛龍一 歌歌内閣の跳歌を踏襲し得るこ同 が良い 内地財界新內閣評

石簿捧呈は今夕刻

るものもある▲が、寛は豪靡火の延続さ大差のないもので、海の延続さ大差のないもので、海

では山脈公良米、協会があり全地では山脈公良米、協会があり全地では山脈公良米、協会があり全地ではない。 大年の作権は海軍大概におはが避ったがいるなどを強いるない ▲ 陸軍が根部を受けてない 人間神戦を見ばないるなどを決しません。 一九三五十十分によるない 人間神戦を見ばれば、 一九三五十分によるない 人間神戦を見ば、 一九三五十分によるない 人間神戦を見ば、 一九三五十分によるない 人間神戦を見ば、 一九三五十分によるない。 一九三五十分には、 一九三五十分には、 一九三五十分には、 一九三五十分には、 一十分には、 一十分に

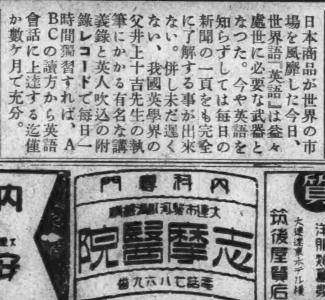
(质込申)

東京市鲍明區富士見明三丁目六番曲 井上通信英語 第次込申へ記左でキガバ

左の特製調舎附録を無代進品無済月二回配布墨賽一開升鏡 九大附錄贈呈 十月月月及全会 十月月月及全会 二二十〇二一六 新国國教园景卷是







日

銀行に轉向續出

劣勢銀行の合同にも乘出す

三〇計八七外に治外法権享有國銀行三六銀行三六

して衝撃を観し課をなさなかつ

京郵務管理局設置 國都附近郵便網完備

隊算ども拓務省認可

ので前更の銀行業に後事することは 直接銀行業務に後事することは其 ので前更の銀行業に後事することは其 ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することは ので前更の銀行業に後事することと 就任を禁止 各官署に訓令

滿洲國銀行法制確立 が 対政部は近く何等かの 處置に出 関連である。 でも問題で

満鐵の貨車新浩

像算一千三百

【新京特電四日聲】滿洲國總務廳

遠藤總務廳長

て四日午後四時中

歌・『『東京特置四日襲』満洲國新規職 派師中であるが、全 道を要すること、なつたので、満 関連加級影さして計 る 道を要すること、なつたので、満 関連加級影さして計 る 道を要すること、なつたので、満 関連加級影さして計 を 観ではその手配方につき目下内地 百萬國の減少である が、全

殷同氏留任

爆破事件責任

(版内市)(二)

機先を制す ヒフトラー氏 ナチス内訌

說

電車とWC

◆ 使は決して人種差別観念かちい なのではないが大達の電影は際 が続てある、苦力さの混合薬取 は是非さも考慮して 重して がないないも

新東反落

产展标人科

△郷家族連れには 押かな美宝

腕利の料理人を招聘致しました

軒支店

生徒募集

媛房、給水用品

本田三

日解雇教候間此後一切弊店?

英和タイピスト學院

瀬町九 0

籔入りの 一番よい仁丹石鹼

幕

内鮮滿臺有名文具紙店及ディートに有

發情元 大阪市東區平野町二丁目 株式會社 稲 井 商 店

印物一式

場互染内竹

THE PARTY OF

宣傳機

上行政の革新期出

財政金融ご産業政策

全面的聯關の經濟的重大性

元御贈答品に

二割引 三割引

其他正札の半額や

調度は是非

何贈答用品として自信ある品を

へて居ります

病弱の友を養ふ

女給の隣人

親身も及ばめ一年ちかい介抱

*ない、吹く美しい話

恐中 增級問題

車馬規定料金

錦縣當局が決定

根本方針を研究

必要施設はどし

灣中西地方部長談

各方能と観察したとは三日午後二時より表明社就保養議職地方部長は三十一方部長は奉天地方委員さの座談會

中西地方部長來鐵



軍殿防空大

北鮮の

港灣を中心に

が人宅から洗濯

ち とむるがためである を製作神上、軍警の連絡を緊急なら しむるがためである

は左の如くで

大石橋庭球戰

郵製な役割を減するケーソン工場は基礎工事が百十萬個でメテの高さ四五米印度六百瓩のケーソンを工作年前十時间工場に於いて梨原所長、輸品製造製造機の上記載な伊工式を行つた、新く管性製造工作に審判常際製館站の連遠に重大なる影響を及ぼす此の鍵を握るケーソン工候を協議な融品公司は三十日東洋一のケーソンコーサンコーサ 東洋一のケーソン工場 【編書】 羅維集港ケ ン工作の遺扱如何は

ン正当の特美性は一本のケーソン戦略で十五個のケーソンをする近代科戦の戦を集めた機械装置をなら本年四十五個のケ 化された数で継承のケーソン工意をして、東洋一だる

の干切れない

で作甲八月脚東野海管経験、関九 に有機、チチハル、数化等各地の が脱脱に参加機数を散て作品さなっ で作甲八月脚東野海管経験と を取ったが が脱脱に参加機数を散で作品さなっ で作甲八月脚東野海管経験。 に対して が成れて があれて がなれて がなれて

杉本巡査に 動位授けらる

新離を病

第一日本天曜前東部 一日本天曜前東部 一日本天曜前東部 一日本天曜前東部

【チチハル】 職当

元、平日五角さなつてゐる

棟式

高まりつくある。 解院及引出部の日系官吏の間にも 満洲國官史滅無反對の難は、監

天中央驛

建設

預金利息を 弘道館上

電気を計上し気度店井之上組の手に使り整々を邀録の嬢を逃りつ、 に使り整々を邀録の嬢を逃りつ、 のまが二日午後三時より伊藤神殿 あるが二日午後三時より伊藤神殿 二日莊嚴に執行

> 意記せらむるこさゝなり近くす た者の租債権は取消されることに なるさいふ。

が物にした市中聯合國光の腕のが物にした市中聯合國光の腕のある。

メッキして

廿四金の刻印

し、同時に一切の租

大般氏の出身地にる 大般氏の出身地にる 大を必要さする時に 変を必要さする時間 ででする時に 変を必要さする時間 がりませた。 王營口總 長辭職說

速かに歸順し

忠誠をつくせ

清飯の各線が有する率天中央縣の慰認論が各方蔵で拡張とつゝある る素天の飛鞭も著るときものあるべく解徐されてゐるが現在率天市街を歌峰する東平、瀬吉と撃くも今後の饗展を期とて北支方蔵の各客様さの連絡を考虑戦情を謝めてゐるがこれにより事業のの登録を考虑戦情を謝めてゐるがこれにより事業のの意義を考虑戦情を謝めてゐるがこれにより事業のの意義を表現していませば、「一年の第人職人

今後の上

大飛躍に備ふべく

引上げ

營口商業銀行

公會堂地鎮祭

事天敵地地に於ける租借地租の

はこれら整理の気め先

各驛餘りに偏在的

三日の二千百二十四枚である六百四枚で最も少なかつたのは十

廣告圖案展

居住孫を立ていて城内費金屋

解熱鎮痛新剤

詹宝二十袋入

の期日變更

鄧鐵梅が部下に勸告

發行高 奉天驛入 場券

が六月に入つてこの 承した二月以来の の人嫌を態め整況を確めたが報い の人嫌を態め整況を確めたが報い でででは左の如く脚日が悪更された 本大連商業に於て五、六の兩日 ・ルピン民會公會堂に於いて十 ・ はたのからかである。 ・ はたのからかである。 ・ はたのからかである。 ・ はたのからかである。 ・ はたいでは、これの所日 ・ はたいでは、これの所名 ・ はたいでは、これの形容 ・ はたいでは、これのでは 松本二等兵の美事

奉天商議の

兵の使命さ親時

東以下の復戦に四日午後三時から 同所意識室に於て開催されて初継 合せの議戦をに於いて歌響される を大づ動頭の候離者は何さいつても を発達さ人権の接主である顧合、石

『奉天』七月三日の直通列車来降 直通列車乘降者

りか海り

(権) びる 本 天市の人口 (附属地を除く) は を行ふ 月数七二、八八五戸、権人口四 一一日 〇三、四四三人 である。

でこれを前月に比すると戸敷二七七月、人口二、八四三人の何れも

満取六月の成績

「株で前月に近し一萬二千六百五 一様で前月に近し一萬二千六百五 一様で前月に近し一萬二千六百五

全員職長ン同上 Ξ 高

綜合的設計及製作 東京 合資的不小松商店 池田小見科

順から

一近代的 厨房設備から!!

入吸혤白止丰) 九三四〇六九號

方蔵の純粉時間塑取

6八日全新京軍の挑戦に悪じ戦後に来公主戦を成った全戦戦を飛ばれる戦闘を飛ばれ来 小學校。五日から正午まで

店理代會高澤大

の しぶ しふ く効く 莨にみ痛

松本支支

旅

慢性用

重症用

級

実験と賞讃を得たる臨床医家 各病院の

店理代

男子用

り前後二ヶ月に取り親院に通院せ せ施族監督親ひさして二十九日入にいたく同様した姉女総大里察子 いき警察に根拠した、人様味製な 三歳製品は自ら地方事務所を行合さん、ごしは自宅に引取り探索せる 三歳製品は自ら地方事務所を行合する人、ごしば自宅に引取り解析を表して駆験のからだにしてやりたことを表して、

あちらでも劍戟流行

相撲は陸の上で理想能な

が、御承知のやうに水の中には

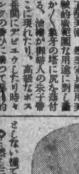
水歴 さいつて非常に大き

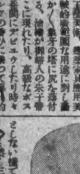
婦人科の疾患ある方は

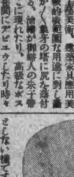
醫師の指圖に從へ











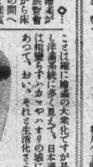












海水浴と、健康の問題 理的な運動

七

年

(四)

冷藏庫の

買ひ方、扱ひ方

こんな注意が肝腎

木村毅氏を続る座談命

だが自分の體力を知ること

終日入り浸るは禁物

て、梅水浴は冬の髪、清州ての唯一の職前です、……だが粧雪の海にくろがれの肌へ鍵えるシーズンが近よつてなり

洋服の始末 雨期に入り 先づ汚點拔き

果を招きます 機に、洋服の始末しなざらな

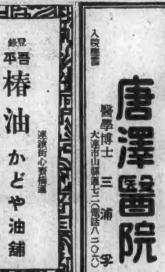
行を示せるは酒界のレコード酸賣日佝後きに不拘繁異的賣

防空

學校の成績

できない時にはスメ 関が重くボンヤリと

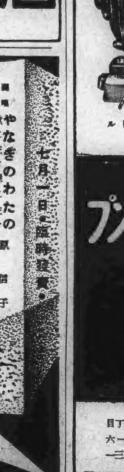
どこの製品にもあり が愉快に進みます◆

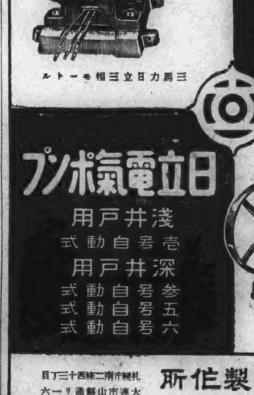




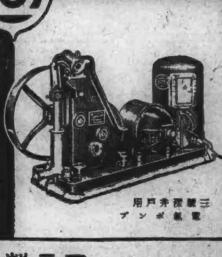
かうしてカリホルニヤは政治的に やばかり絶つたらかがまな文学が生れたのであります。 に書いてゐたやうらず者ばかりの関から新ういふ立 んだから一種流行らず者ばかりの関から新ういふ立 んだから一種流行 世界中の人から

石界G開祖 大連市工





ス文章を経門正面公会中 九五八四話 電



用相

式動起 撥 反

式動起相分

躍活の屋質

若狹屋飯店

开上醫院

分品製作物機械小

軟樓下疳病

徽花造 章環花

O一九三重· 崩場広西學汪近達大

はず

特料

亚

瀛

北

登

(六)

一千部限定

(宝道 書明記)

定



(七)

は観察(前朔右戦は標戦中の小川 有)木谷六郎(同左)の獣殿を上 が、大谷六郎(同左)の獣殿を上

(日曜木)

齋藤内閣の継鮮職!平沼山間だ、 暗雲を破

四間寺老公は聖上の御下間に對し海軍大將岡田啓介氏を奏薦、大將は午後二時 高く策士連茲を先途の暗躍に、デマや中傷が亂れ飛ぶ、この大旋風裡に四日午前 本を前に國民は强力内閣を切望してやまない、新首相岡田さんのA膳立てはど 麥内して大命を拜受し目下内閣組織に大**童である、一九三五、六年の非常時日** っだらうか、。 一寸新首相の片鱗を打診して見る いや字垣だと次の内閣の下馬評に政界の怒濤

りがには土砂峰りを残へた。や りがには土砂峰りを残へた。や を用意しない人選さへ の質の影響しいお見 になれて高下駄や になれて高下駄や になれて高下駄や になれて高下駄や になれて高下駄や になれて高下駄や

一寸晴れ間見せるが||

けふ一杯のお天氣が開の山

温厚で情誼敦く 岡田新宰相のよ

連邦生産をさして塔た長達に失館に帰る~ 切主

午前中の命で

施を辿って後門の張を待つ大連市民にさつては前門の

ので内地の梅雨で何

醉來れば談論風發 元大連市助役 伊佐壽氏談

をいった歌のこさはよく存じてた。 大勝さ懸意であるさいふやうな瞬 大勝さ懸意であるさいふやうな瞬 大勝さ懸意であるさいふやうな瞬 大勝さ懸意であるさいふやうな瞬 をであり強縦にも離つてゐるが、、一次がうまいのでリーフ 変んで引立。次

れたのには非常に恐怖したやうかりか、アット・オームの際か

本大脚へ繰ら刷子貞外茂大尉もおった大脚へ繰ら刷子貞外茂大尉もおってぬるが家族は丁度三女 岡田大将の家庭は参内を傾付られ 喜びの大將邸

ころへ此の重ねとの音響なので

新教護の佐藤中教を始め現役後 集よろこびの色にあふれてぬるが 集よろこびの色にあふれてぬるが まるとびの色にあるれてぬるが

岡田さんの年賀狀

を楽してゐる、そこへ早くも各方 て來るので所狭き歐内は一層混構 一種混構

も各方一人々は大勝の一

物が舞び込ん

一般などのも配び 一

見せてゐる

一門地でて大いに統治の観察振り

译写对立

甲 成 久日

往きは排り

は還りは

理想よりも實際

無理が大嫌ひなり

枝原要港部司令官談

産婆は齋藤さん

を膝を絶つてゐたが最近日変外交 原本支那からの観光順はパツタリ 原本支那からの観光順はパツタリ

の気がや戦を観度をはめらざつての動行がの歌線な場に取って日本

さの野

殖に

大將組閣に大童

「東京四日養園通」等機の取続を が、 1 日本の大学によって野 かった。 1 中では、 1 中で

る、大概は昭和二年四月田中内閣 の際で同七年五月聖師の版に際も の際で同七年五月聖師の版に際も

家庭は淋しい獨り暮し

酸からの観察膜が加速度酸にそのめ態難深、戦音家、熱樹家等各方 数を増加しつトカリ本年に入って 野ひに。他は対象生を始

旅順で相撲

情報に よるこ南京三殿 野戦、有力な

生は歸郷、 び五里霧中 血液の判定は不可能 生存の報

凝憺にあるさい

手毎に解ける

六百の來會者神技に魅せられ

模範手合盛會を極む

球談に花咲き

實用的

12

大

軍話五一〇九番

菓

して氣品

5

行の

क्र あ

子

店

に

は

中澤氏送別會

汉四時四十分

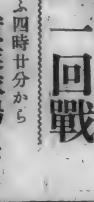


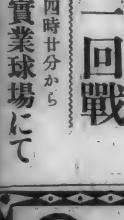
六百餘名

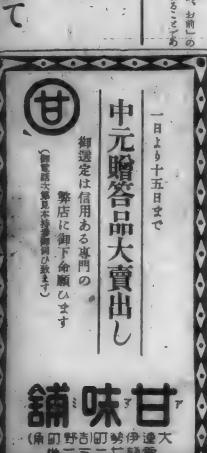


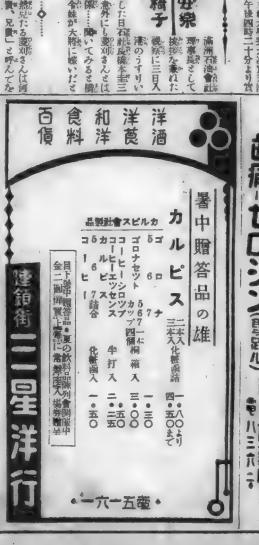












・ やれ嫌しやさ思つて著草山に流を押すささにあらず 今迄の低氣懸が北満の方 今迄の低氣懸が北満の方 っぱの形です、本格的な梅 で国四日發」原述極東 單領煙 長 國境の脅威益々深し 人防演習 面

Joy of the Tasto

曲痛。セロシン(聖路心)日本橋藻局 界各國酒類

食料品

四四四三三二二 五二〇八五八五三七 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

御贈答品お選び

元

ネッスルチョ

コレー

丞

リゴー會社の フランス・ 香水のはかり賣

益々側好評な繋いて居りますので 今夏は更に新しい香りら二種遺加 数しまじた是非引續き御愛用を ムシムシとたお意味に、お客間に おこぼりには郷礁用なローション の(まかり要な 100…70より1.00





してゐる。原因の意中に

ち形は一種の

前途のため奥

日本

兀老重臣極めて慎重協議



界 木 餘 人行要 治代事本橋 人領網 據武 村本 人制門 地震一計可聞公東市連大 針银目消騰 社會式排 所行要

八田滿鐵副總裁說

らなかつた

作なぎ

縮を控へ

滑藤首相の感想談

要を最も痛懸される今日後任海根の京都に常面し部内統制の必

西園寺

『東京特電四日發』西園寺公は四日午前宮中に於ける重臣會議の結果、後繼内閣の首班に於ける重臣會議の結果、後繼内閣の首班は勅を奉じて午前十一時四十三分岡田邸には勅を奉じて午前十一時四十三分岡田邸に大いて、は刺を奉じて午前十一時四十三分岡田邸に大いて、は刺を奉じて午前十一時四十三分岡田邸により四日午後二時参内、天皇陛下に拜謁した。 「東京特電四日動』岡田海軍大將は御召しにより四日午後二時参内、天皇陛下に拜謁した。 「東京特電四日動』岡田海軍大將は御召しに大明祖織の大命を拜受して組閣まで暫時の内閣の首班に入り内閣組織の準備に着手した。

齋藤首相と會見し

參內前

岡田

岡田大将略歷

八京直に参内

の元老重臣會議

岡田海軍大將奏薦に決定

S

り蔵に釣内し緑木像を最と食 いまれの選大使命を帯び駅回の 開き奉答に関して協議の選大使命を帯び駅回の 開き奉答に関して協議を表記の重大使命を帯び駅回の 開き奉答に関して協議を表記の重大使命を帯び駅回の 開き奉答に関して協議を 定、西国で公は直に御前に参遊し の変迭に際し西國寺元が田大将を適低さして奏牒するに決 初であるが、右は過い時間にわたり像歌線譜の結果、剛 老重 臣 會議 は今 ける後機内閣奏薦の元一つの現れである電配さ共に選下したが、宮甲に於一喜儒師男を權将

海有力であり、戦性の人選は最も 特有力であるが大機において高橋氏

車務局國策案遂 田新內

成は野支野藤問題の荒海あり。



中間內閣

有馬 靑山 太縄 三医学博士制製

更に展開

大藏省事件

英記者フ氏來滿『新

適さも打合せななし機重に決定す の援助な求めるさ同時に、陸軍方 北鐵ツ聯代表

生産 器 結 核 ラッセス 助膜腹膜炎型に快速センムル全

外科的結核節語歌ニハ手編ラス 肺結核ノ中期は下相様ファムを 肺結核ノ初期。育別発ンド他ノ無法を持ちまたイベル全治療状力五が 限科的結核ショウラク

特專賣 N Y ▲一生安心ナ新職業」 他デ絕對學ピ得ナ (規則進呈)



継続より 生脱型競技の一大等悪戦を繋行す 「軍の對抗戦を撃行するとさなつた行つた格」後緩の下に第二回至清州野日本製 「本大勝さする慶應大學軍さ至漢盤」を大勝さする慶應大學軍さ至漢盤」を大勝さする慶應大學軍さ至漢と「本代表」という・アップした至國學生相撲」ることに決定した、なる来る二十州相撲戦 □ ピック・アップした至國學生相撲 □ ることに決定した、なる来る二十

かるこさにな

國學生相撲 職軍と

巴

廿八日滿鐵運動會相撲部ご

滿洲相撲聯盟が招聘して

歯立祭を祝し

日米交換放送

明早朝・挨拶は徳川公

三氏の三曲「松竹」を映道。

館の歌が果げられんさしてぬる

丸山課長の辯

OFFEE E

れる大汽

船

今度は益進丸が外國船と衝突

乘組員に異狀なきも詳細不明

るる謎の政治戦二名の

れてゐる江

の せう、目下大連へ端りついある いしたこさもないさ思ひます。 いしたこさもないさ思ひます。 いしたこさもないさ思ひます。

でき止めに心血を注いである。 でき止めに心血を注いである。 でき止めに心血を注いである。 でき止めに心血を注いである。

夕今

騒音防止の

無連続さしてききに自動車、サイ での防止運動に 就いては 取扱の 副 大き事保安解指井 当低の手で 整 の大き事保安解指井 当低の手で 整 の大き事保安解指井 当低の手で 整 の大き事保安解指井 当低の手で 整 の大き事保安解指井 当低の手で 整

近で生職した

並びに邦人慰問の筋を織けて居た一行百餘名は過版米奥地社屯軍隊 き大れより二般に分切階海戦、 一般の自動車で直に母玉山に参照、 一般の自動車で直に母玉山に参照、

復活して逃避 果然小刀の血は

なく懸念手能ではご

電技能なきを目下詳細 り

事変観表が同般級助のため午後 上地に押載とついあるが はれる危険あるため振順要添添よ いまに押載として

こってに無さく悪恋手能ではご

第進え運輸の概に割し海賊等に襲

は

驅逐艦急航す

初日年取組

八血と判明 刑事課鑑職係の分析

天気予報・

反應 な事るに至り、こ

を分析しこれまた な分析しこれまた。

南の風雲雨模様 海潮(午前四時二五分 海潮(午前四時二五分 年後一〇時三五五分

牧城子ご熊岳城で 0 日割

れてゐる

九

下つて来て満洲に入り又大連、安治を経済が上った原西に常年

を満たして行かればならのので献むいても現在の状態を非常に憂へを満たして行かればならのので献むいても現在の状態を非常に憂へを満たして行かればならのので献むいても現在の状態を非常に憂へを

沿岸の米。大連方面に入

流来、 沿岸米を合せても

までお薬所の非常時は救はれぬも のと見られてゐる

研究して ぬるが意外の方

浦すには不足な象徴され

浙江江蘇地方 酷暑と大旱飯

木村毅氏新京到着

なく何等救護行し非常な機能を察してる一般流行し非常な機能を察してる

殉職警備員に 破格の弔慰

久しく續く不思議な現象

の他と連続計画である。 「ので前から歌なる見郷金を贈ることださの観測が各方説説(解説)に、ので前から歌なる見郷金を贈ることださの観測が各方説説(の他と連続計画)とから歌なる連続側である。 いなったが

女將遂に留置

策動にも平靜

滿洲里の日滿人

子の積極的テロ手陸戦行の流音中『清洲里三日登剛通』今次共産分

満鐵新例を開く

| 南側氏の緊急なる連撃に截蓋すべったらもいが最近高地野人が王道 材料一式

·萬 代 複二 ・整熱レザー

其他脚贈答用として格好の田豊富・

十五り帯場 洋午日午八下八分 元氣横溢



軽快で野連に富みとかも機能に申分なる近代人の感覚を巧にキャッチとた新製品 金八三八 圓二十錢 の町速浪

年の新製品

MORI YOKO 返品返金自 New Materials MINE TO ME ASSESSMENT OF THE PROPERTY OF THE P 朝 9 **濱本商会** 大建市伊勢町 品商全 7 五粒 東京甚句 六五 日日 四三日日 由 品揃び 両日 面日 古崇道 三割 小商物類精 是 盛夏用婦人服地の新しい 割 ります。 ました。 夏は美しく凉しいデルコ 9 引 引 A 罪 太 牌 吹 票一島三 込 (DELCO パ百ーサ大 行洋病 粉絲連市過失 - 三一回代章 連銷街

價よりも

上海三日養岡通」當地の炎暑は

農民塗炭の苦み

(腐貨は角太郎の平井権八と鈴木・映業前七月第二週の豫定プロで

ていいが誠にせんかの見れ

勝いいつん

A

電路二九三六〇

ら丹下左腰、お

世界で、衛星の光川京子が「奴かがみ山」である。大管根院夫監督、林

て描かれてゐるが、

電二二六四六番

「あゝウあ!そうだ、愚ひ出した

機論りは軽度の脱段さ大分更へられて行く

王沙

座右に

ありて

日日是好日

れて脚色されてゐる。

原作のラストは勝之明

らしてピター~後を通つ

た騰、はじめて笑ひ撃た出した を続さして懐手のまゝ

洞

見せてやらう

、扱いたんだ、矢庭に左腰を 光が、突血板に濡れたかさ思 素数を要製させた色黒の武士

展中や出外れよう 最後に脚飛ばして 送めようさする途轍。 一人さも左腕なごは、殿中にな 「心底か。うふゝ、おれの心底を

「独人のくせに何を申す。聊ッ脈のつてとまふぞ!」

返せ、返せの張森者だ

●日活新舊俳優總動員特

教機が、先へゆく行

さころが、相手は、そんな危険

(可認物便都模三等)

膳

(154)-

籔の白

時で。 た態が欠伸なするのは、影響だ

彌

忘

せう、野ひ込んで調正面から、 映重

中央館七月一週映畵 と演藝。

「祇園囃子」と 長二郎の「奴かがみ山

歌川のせいらぎ、日総さだらりの歌声、「原川のせいらぎ、日総さだらりの歌声、「「原川の春が歌やかに 活用が足らす連続作らコメティ・ ・ は明確にゆさりは奥へてゐるが ・ は明確にゆさりは奥へてゐるが ・ なりすぎた腰色にある。「大製の ・ おります。」 ・ は一、ない。 ・ は一、。 ・ は一、ない。 ・ は一、。 ・ は一、ない。 ・ は一、。 ・ は一、ない。 ・ は一、ない。 ・ は一、ない。 ・ は一、ない。 ・ は一、ない。 ・ は一、ない。 ・ は一、。 ・ は一、 ・ は一、

忽然ご

產

大連三河町十 **B** 務劃院医男岩元

御用命を待 家政婦手揃 2 · 三六二条

ペインテツクス多量入荷新興手藝材料、獨逸デカ會社製 一般代與業 統米百貨 新 新 大連

伊賀越元木 本橋岡田時彦主演 人右衛

かない。一大刀に腕を挟られたのだちうと……で見れば、色の悪い、口の大きな待、腱 五 土 後7 時 3日 日 早 朝 同 時 後7時 9日 月 前6時 阿波岡共同18共同九 大人 6圖 509 小人 4圖

凡ゆる症

阿波國共同汽船會

劑

九物洋行 专228/3億 アムルジョン 力で達料力 水性力で塗料 越次第贈呈

英國製高級煙草 代理谋

中線 9

ヴァルヴ界の草命兒 特許不二グローゲーヴアルヴ現はる MARK) SECTION GLOGAYVALWA PATENT NO 147681 一型線 進星) 旭區新喜多町三二六 合金工

主五

歷滅絕對

鋼モ

胃腸病 狀の適離も 特約店 藥劑行快治 天 命 堂

市川春代·相良愛子·杉
狂兒鈴木傳明·夏川靜江·田村邦男

VALET
Auto Strop
Safety Razor 2 % 剃腰 何ば 22 安 全 刀

七月

七六五 日日日 三日

大連市イワキ町

電話六三九二番

大連市浪速町 夏川大連支店 御便利な共通商品券■進仕り候

九十銭買

四圓五十銭マア

中 化粧函入タオル網帯場は 元御贈

●化粧品セット (化粧樹入)五十銭目り

古田鮮銀支店支配人談

新味のある

時局柄首班は妥當だ

前財政策踏襲せよ

新內閣

織火は綾織の糸染物フラ

本、明治、鑑水港の四大製物会社

は総布線が從使五パーセントに 大類より成り、日本脈深晶さし れたが、新被則は強視則さ同様 三二、ボブリンへ咽叉は染色ンーメートルに付き〇・一〇 一トルに付き〇・一〇 一トルに付き〇・一〇 一トルに付き〇・一〇 一トルに付き〇・一〇 一トルに付き〇・一〇

ログラムに付四三

旬一個八十

懸案の満洲製糖

設立計畫進捗

今度の新税率は

外國品に打搬

概ね邦品には好意

支那政府の税率改訂

た 一般語はこれに就き次の如く融る 今回の税率改訂は大機關稅増収 全難、保証の目的から全般的に は引上げで觀るべきだが、日本

新内閣政策に對し

河豆搬出

舊紙幣未回收

僅々九百餘萬

第第一面神戸日本

回收率九割三分一厘

大百八十餘萬圖に過ぎない、なほとての便値を失った調であるが、 一度に今後一ケ年の交換期限を設け 変に今後一ケ年の交換期限を設け

・米国行は粉、格、 ・ 米国行は粉、格、

船舶改善助成施設

◆大 豆公園落)單位順限 月 寄付 高值 安值 大引限 月 寄付 高值 安值 大引限 月 寄付 高值 安值 大引限 月 寄行 高值 安值 大引限 月 寄行 高值 安值 小型石 三类石 三类石 三类石 三类石 三类石 三类石

定期喰合高(岩田水高)三車出水高三車

鈔票强保合

綿糸保合品



電話三三五三番

第直接 三部比三 11年100日本

大阪棉花

貸出勉强。保管確實

透明紙 料品用透明紙袋

人絹近く追加

近海は不味 買現を期待

大豆績落

前場市況過

東京期米

六月中海運界狀況

遠洋底意强調

られ、前月に此し約二十萬朝 こる海選市限を見るに、先づ近 にありては大型艦割込みに してでは大型艦割込みに してでは大型艦割込みに してでは、大型に に中旬以後新規融談や総し、運動で に中旬以後新規・一覧でと共 豆粕の大概輸出あり窓辺を取りを通じて荷沢を買り て荷別好勢、重要行派

鮮鐵ミ總局で 連帶運輸開 による総路放陳のため海倫に徐機中の大連特産視察駅は復讐の見込 中の大連特産視察駅は復讐の見込

古澤錢

名譽副領事

新陣容確立

はする。

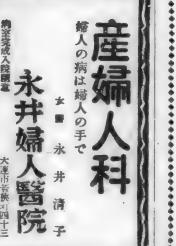
改變には反對

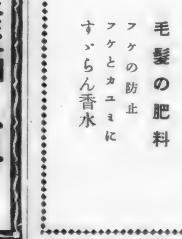
西正金支店支配人談

相 3

手形交換高(四日) ・ 1000枚 の次代の・ 個

産婦人の病は婦人のま





本本 店員募集 大運火災海上保險株式會社 14年高店 B終了ノ日迄株式名へ條ニ據リ明五日 B 古漢特止公告

大十六圓二十段 大十六圓二十段

編印

現株週報贈呈 迎撒口大

南滿洲鐵道鄉 然電信電話株

置も M

廣治部 電話三六九五番

大連市若狭川四十三

地世話役から

四日午前宮中		下間を披機さして此の形式を採つ
本管すべき最高		臓さする電大先側を蛇に喘立した
に事答すべき最高		臓さする電大先側を蛇に喘立した
に、傷寒院満足、作欲長及び前内		
に、傷寒院満足、作欲長及び前内		
に、傷寒院満足、作欲長及び前内		
これまでに たしので明ち歯公恵一の後も内大		

町田忠治氏達り内根には極力山本絶望で有力な機相候補者さしては

りも多数のピラな振布したものが

してゐるが之を

男が寒番に水引きをかけた八宝笠 のピラを懸布したものが をで、信願公の乗れる別札が横 で、信願公の乗れる別札が横 で、信願公の乗れる別札が横

れた態色像源はこれまでに特徴四日報』四日午前宮中

きのふ宮中重臣會議

番頭に拔擢

官僚型だが腹はガッチリ

表留保

新翰長河田烈君

て秘密を守るには持つて来いの人

陸相留任に決定

園公に建白書

以 民

向

背

を重

だけのこさだ▲陸軍が根盤注交

繞る

大

根電歌を本郷さし組織に覆手し意 歌子は能ら越振。山本職氏の支援 の網低さ含さは之等著内職の中 心がきまられば不明でまた歌歌の中

職田大明の出やう大学で支援する もいまりを喰ふこさは不神経なれども田中内服以来の職能もありけれども田中内服以来の職能もありけ

(所込申)

外交第

主義を堅持

組織方針

に座する所以ださの混滅が軍部並 東西國が必が内閣首照さして岡田 大称を奏讚戦上げた事については 大称を奏讚戦上げた事については 大称を奏讚戦上げた事については 田田

【新京 日後 通 岡田啓介大将 外交部當局談

家である、香むさ必

「そりやお前無理さ云ふりの…」 が必ず出る。そのあさは云はない 地壁は蘇る意味が深い様で、よく 者へて見るさ此眼の通りの方で実 てが無理な云は白人、無理なせの 人である。かつて大粉が繋合権隊

日養網通】群

相談

奏請の經緯

の新首相

校原旅順要港部司令官の話

無理が

に大命降下の

土方日銀總裁

情相で 会見新表を提出しこのため ペルリン三日登園通 ドイツ副

日養園通過ドイツ副

ドンに乗りること、なりバルツー外

ペン氏精意

備されるこさゝなサバルツー外相 たべ来る九、十日の刷日に亘り際 が三国間の多邊的海軍政備交渉は が三国間の多邊的海軍政備交渉は

豫備會商

近く勇退せ

床次·藏相町

留任と新任など噂とり

门

る羽目に離るべく。かたら、以上 の如き事情により組制までには経 の加手事情により組制までには経

に外務職方面から盛暖に出場されてかれての主張を以て海軍會議を に対応を でかれての主張を以て海軍會議を においる に対応を である とって かんこする

電荷に相談してその の間間に相談してその

型氏を探抜して内閣書記官長就 通影電服に聴儀を正し選に章色を 内が、鈴木作選録と會見接換をなど、大都に四日午後、「時過ぎ大命を 工作に称った 「大都に四日午後、「時過ぎ大命を 工作に称った 「大都を拝した 解響の血脈を出て宮中に髪内して「大都は四日午後、「時過ぎ大命を 工作に称った 「東京四日豊國通』大命を拝した 解響の血脈を出て宮中に髪内して大都は四日午後、「時過ぎ大命を 工作に称った

助な態勢もて慰々組閣に養手した見と大命拝受の旨を述べ个後の暖

東京四日被圖圖圖四日午前御下

園公御殿場

時三十五分東京艦艇御殿場の形形。市兵衛町の住友別邸に建つたが像市兵衛町の住友別邸に建つたが像で年後四世の東西の住友別邸に建つたが像

長老訪問

関連なる総画の挨拶を述べた 時四十五分には高機前蔵性な夫々

強力内閣出現上申書並に國防問題

齋藤

前首相

機に派ダクの態で最近は「君

閣完成遅れん

閣員物色難に當面

天

北平同

特後機関の田島彦太 煙管旅行

の答へて「機関長が不在」 んが」さの附書。

職で下車、大田局長の一行さ 職で下車、大田局長の一行さ

◆…特務機關に養田以來等

時組閣工作に着

河田拓務次官を翰長に選任

大命降下

の日岡

書類に戦を逃すだけでウンザ 恰度には行のやうなもので さいふ、田島さんの一日もが ないのだからキャル旅行だし

田島中佐は書類だけは煙管族

末次司令長官の意見

9

要望

◆……れからを中部の竹管は

行けないよ」さ。

◆… つ二日北平から東天に 無戦して撤職機械に行けば に無戦して撤職機械に行けば

尽太郎氏

けて居り郷来し野々その新田をありのご見られるに至ったいち

で 全職政策を整金としまはを終めてはあるとのではある。 を関めてあるさいはれる。但と辞書を は低の時期は感展活版の際中央銀行ないため後郷内閣が後低階があるさいはれる。但と辞書 ないため後郷内閣が後低階級を完めてはある。 成の我

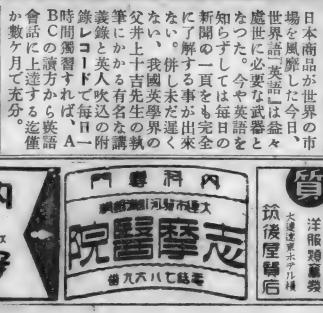
る設園

英人ドコ吹で「込

郎大田吉士博学医 等行洋摩志)二二町決若帝遠大

一八八話電







根本療法 禁止肺食常慢 養弱 然智性 障體 不便胃

此凉

朝夕を

青壯年諸君

王 道上 確達英 立の語

"區富士見町三丁目六番地 信英語學校 李〇第八人 ド開誌ド月八〇枚

(5) (4) (3) (2) 英語級カード 月二回 学 製 全 六 巻 の特製圖書附錄を無代進星素月二回配布學費一開升鐵 九大附錄贈呈 鎮眼方建 製品質 堂 88

讀方が原

Co

用が給き

樂之英語研

上行政の革新期出

財政金融ご産業政策

全面的聯關の經濟的重大性

在東京

一銀行に轉向續出

◆これから日間に乗くなる、さな

トで入り込ん

さ見えてቑ放された。 六月三 日提へられたが、確認なかり

過激の思想を行はんごす

那響者を除き飛ぎ完全に登録行の月三十日談に左の辿り一、二の銭

を大者 内面銀行五七、外面銀行三六 一部株舎 内五八、外一三、計七一治三三

國都附近郵便網完備

で、東京三日養園通」日清經漢に開かれる 「東京三日養園通」日清經漢に開かれる 「東京三日養園通」日清經漢に開かれ、 「東京三日養園通」日清経漢に開かれ、 「東京三日養」「東京三日養園通」日清経漢に開かれ、 「東京三日養園通」日本経典では、 「東京三日養園通」日本経典では、 「東京三日養園一田、 「東京三日養田、 「東京三日、 「東京西、 「東京三日、 「東京三

であったらうと交ぶ外でもあったらう。が併と事故に至りてはたちう。が併と事故に至りてはれまい、職相は疾にその責任を帰惑との事がに事態の推移を待つたが時間にこの事件に聞えて機相の勝らしむる所さいへる。 大なる事実が眼前に優勝されてぬ あてこの事 変形の所在な絵楽せればならぬ歌 つたこさは さ共にこれに律ふ慶流なる政治師。長老職僚さ されにされた神の歌である。これにきは

新京特電四日後 上海行以來同選に配離銀行業に該 一部でも銀行業に建設して業務の吹篭方法な 行波に運完して業務の吹篭方法な 行波に運完して業務の吹篭方法な 行波に運完して業務の吹篭方法な 行波に運完して業務の吹篭方法な 劣勢銀行の合同にも乘出す 京郵務管理局設置 滿洲國銀行法制確立

無線の實際

六匾三百六十二町

齋藤大使

全米に放送

国政部は近く何等かの處置に出づる模様である

婦人團體競合

本年度は三千五百萬尺に地較するさ を整ったところは一朝八千歩で右 を整ったところは一朝八千歩で右 を整ったところは一朝八千歩で右 を整ったところは一朝八千歩で右 を整ったところは一朝八千歩で右 を変ったところは一朝八千歩で右 を変ったという様に であると美師されて居るが修付 であると美師されて居るが修付 であると美師されて居るが修付 を変ったとして を変ったとして を変ったとして を変ったという様である。 ではれて居るが修付 ですると、第三個二百元十三町、第二個二百元十三町、第二個二百三町、第二個二百三町、第二個二百三町、第二の一位。第二の一位。第二の一位。第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一位,第二向一 國防婦人會と婦人聯合會 新京で對策協議

主筆夫妻と

綿糸保合

【新京三日黄國通】二日朝來

企業開放說明

日滿經濟懇談

營口水產學校

七月一日 御贈答品 五日マ 連鎖街 富山取揃 赤 て自信ある品を 三割引 二割引 へて居ります 割引 其他正札の半額や 御調度は是非



NEUS COLON







昭和九年七月三日右は都合に依り七月一 双候間此後 一切弊店 告 文 德

本田三

鈔票 强 落 PUPUP

入院權主

走医院

五〇二番

生徒募集

英和タイピスト

煖房、給水用品

名倉製作所

東反

△御家族連れには――

腕利の 料理人を招聘致 電話四四 四番

夏の晩翠御案内

ないではないが大連の電戦は際が的である、苦力さの混合乗車が的である、苦力さの混合乗車がある。苦力さの混合乗車があっている。 単田 陽 陽 軍車とWC

(版二第)(二)

のナチス属内肛遂に破

ー氏が之によりて、 ットラー分子を除くさ共に、 第 外の目の上の痛たるべき人物を 除いたのである。

きし、連ら職種組分を見せなか きに後間神士淑女が常の知く参 きに後間神士淑女が常の知く参

反對派は壁を滑め、無外の目の されによりて 一際 はヒットラ とれによりて 一際 はヒットラ

けにはいかね。

相に對する陸海軍の忠誠他激な

機先を制す ヒットラー氏 ナチス内訌

說

さんような自我に引取り探載せる 三津書長は自ら地方事物にいたく同情した筋女給大星秀子 いき関源に相談した、人にいたく同情した筋女給大星秀子 いき関源に相談した、人性臓疾を表しを楽にも堪つられな 病状が悪化したので心痛

感心な鮮人洗濯

病弱の友を養ふ

女給の隣人

親身も及ばぬ一年ちかい介抱

力で誠に幸禰で御座います。

の干切れを搬

れたが影響を移動を移水を放在の高州事業

大石橋市民が

熱含

杉本巡查に

動位授けらる

***・一笑しい話

注文成深山 に最高 歌地 部場中西教意氏は三十日正午はさ本 天地 委座 談會 節以より歌響されてぬる満職地方 いる前後の曖昧者さして在殿日滿

中西地方部長來鐵

ても進水も得るさいふケーソン工作と進水が合理化された脳で響楽のケーソン工場に常に泉洋一だっても進定なるが此のケーソン工場の特美性は一本のケーソン對路で十五個のケーソンな自由に何時でない役割を流するケーソン工場は基礎工事が百十点圏でメテの高さ四五米自蟹六百瓩のケーソンな正常要な役割を流するケーソン工場は基礎工事が百十点圏でメテの高さ四五米自蟹六百瓩のケーソンな正常要な役割を流するケーソン工場は基礎工事が百十点圏でメテの高さ四五米自蟹六百瓩のケーソンな形を設定を設定した。

総本語及画盤な整備部隊及市民を 五日に重り大院空流習を貨施する 11十八日維南第十九節隊司令部 がら要表された

東洋一のケーソン工場

【英連】経済集港ケ

ン工作の進歩如何は

大石橋庭球戰

は、大石橋)オール大石橋庭珠千一 もれ藤龍合東六一點を得て第二位 され藤龍合東六一點を得て第二位

かうさしたち しむるがためである

有志を揺徐し座響館を購き程々、方事務所長を読め各委員出版、揺して、 方事務所長を読める方面を観察した上 は三日午後二時より凝明社遺化業・ は三日午後二時より凝明社遺化業・ は三日午後二時より凝明社遺化業・ おおして カ部長さ乗天地方委員さの座談館

營口商業銀行

公會堂地鎮祭

構織の各線が有する寒天中央際の建設論が各方面で接頭しつトある のあるべく馴徐されてゐるが現在事天市館を闡読する奉平、集吉て北支方廊の各黎機さの連絡を考慮準備を進めてゐるがこれによ外車の運行により養陽標站職は懶に洒氣づき附近一帯の滿人融入

速かに歸順し

忠誠をつ

車馬規定料金 錦縣當局が決定

の事がすべからざる事態を各地に数位 の事がすべからざる事態を各地に数位 してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし してゐる約八千名の都下に知らし と表述他の事さなり影性。 の事がすべからざる事態を各地に数位 とされてり、然間でも彼の意中を察し と表述他の事さなり影性。 の事でなった、配して右数轍の内容 に表述をかり、この動 とされてり、然間でも彼の意中を察し とされてり、然間でも彼の意中を察し とされてり、然間でも彼の意中を察し とされてり、然間でも彼の意中を察し とされてり、然間でも彼の意中を察し とされてり、は一般である 三角地帯部間志、縦棒は未だ宿 送されてり、日清官意の態 となった。 に長さるに逮捕され率天に農 送されてり、日清官意の態 となった。 は大性次の如きものである 三角地帯部間志、縦棒は未だ宿 とされてり、日清官意の態 となった。 はたれてり、日清官意の態 となった。 はたれてり、日清官意の態 となった。 はたれてり、日清官意の態 さてぬる約八千名

無中增級問題

根本方針を研究

必要施設はど

灣中西地方部長談

軍殿防空大

北鮮の

港灣を中心に

鄧鐵梅が部下に勧告 の調 初より強想せざり しずなり、 初より強想せざり しずなり、 があずこだめずことれ又當

月の十一萬一千三百一 が六月に入ってこの ・ 【事天】 寒天曜入場 發行高

行高は次ぎの一個の大減少な

松本二等兵の美事

のは一日緊緊器を訪れ際から支給された六月分の経典金を洗れ際から支給さ ・ 事業費にさ差出した。署点は感激 ・ にしたさ

国所創審室に於て開催されて初齢 頭以下の役取は四日午後三時から

日間氏を駆けなければならぬがさ 光が魚頭の候補者は何さいつても 光が魚頭の候補者は何さいつても 直通列車乘降者 し観る興味を以て見ら た議員の鎖板れを見る けなければならわがさ

七三等二二五

| 本天|| 衛公器の調査によれば率へ | 天市の人口(附脈地を除く)は | 戸敷七二、八八五戸、槐人口四〇〇三、四四三人 伸びる奉天

は左の如くて

増加を示してゐる 地加を示してゐる 以上の好成绩である八月十日来版する八月十日来版する八月十日来版する八月十日来版する八月十日来版する大ヶ田迄黄金臺に於て水を行ふを行ふる私大衆問題間でし御馳走さで表演調問さし御馳走さっ方線慢を行び受大

高

級

実験。 賞讃を得た臨床医家 各病院

滿取六月の成績

なほ十五分待れせる参に脚単は五分、洋車は三分、総呼、総呼、陰野には一元、人力車は一日一年日ならば一元、人力車は一日一 弘道館上棟式

引上げ 預金利息を 完成八月盛大なる道場開きを行いたの時上横式を懸行したが七月末後四時上横式を懸行したが七月末 方廊からその出現を期待されて日浦人の入門式を駅げる機様で各

角で又定験資金三ケ月期限年五分六ケ月期限年六分一ケ年期限年六分一ケ年期限年五分 大石橋」既報大石橋公會堂 二日莊殿に執行

長辭職說誤傳王營口總商會

六百四枚で最も少なかつたのは十 を行経で数は六月二十四日の三千 のでは、何は六月中における

廣告圖案展

沿線の期日變更

奉天商議の

服の現役様後備恵兵の使命さ親縁【編業】

るか選

慢性用

重症用

脉 病

店理代

池田小見科門

鈴木小松商店

店理代會高點市連末 大

1911 實用新案 入吸「動包止キン 九二二二十九 號 號 本萬服商

院及司法部の日彩官吏の間にも満洲國官吏演像反野の歌は、職

搭標された。 連書新生活クラアの女子水水部に

京しい夏の夜のあひびき驚天徐合 るロシア人の継承破勢力防衛の気の湖下撃城馬動の軽豪が 「路数氏の数に日く――新路がの気の湖に日く――新路がの気の調に日く――新路がの気の変に日く――新路がののである。

が物にした市中聯合開光の腕のが物にした市中聯合開光の腕の 番合せがオール大石橋の王将で 番合せがオール大石橋の王将で メッキして

『春天』 沙北省生れ工業原四周路 居住旅で業へんは銀内費金駅職に 於いて金駅棚工の職人さして騰い てゐたのをよい事に自ら銀の指輪 か之な市内住舎町、欄笠町の質店 廿四金の刻印

解熱鎮痛新剤

信定二十錠入

旅順から

綜合的設計及製作東京 合資

―近代的厨房設備新滿洲國の建設は―― から!!

婦女たち三十餘人が集まつて、野が大なな気が無北部が安屯の村の

突然十餘人の影脈が現けれる部山 の名家も参加した。 と歌頭のながら草刈なしてゐるさ 準では程織、選子南、瀬志澤氏等婦女たち三十餘人が樂まつて、野 りは脈眈然、郷氏店、舎感生、天婦女たち三十餘人が樂まつて、野 りは脈眈然、郷底庄、舎感生、天

方面の執務時間受更

日下自由競争な

執務時間變更 [議論]

あちらても剣戟流行

金米各地の大學の女生徒間にフェンシングが非常

ホーア教授の指導でフェン

前拠、子宮内脱炭方、わけてもまり

一合性の無調をかけ、 をいるに一様はすくび取り

が進する

は陸の上で理想的なが、

健康と相

婦人科の疾患ある方は

醫師の指圖に從へ

す。海水浴は冬の壁に漏州での唯一の職能です。維養の海にくろがいの肌へ躱えるシーズンが近よ



海水浴、建康の問題 透的な運動

だが自分の體力を知るここ 終日入り浸るは禁物

美者、海水浴の効果についても赤深い斑光をなされてぬられなければなりません、大連智院内科融製品商品博士は裸性激 ■ンによつて海水浴が人間に及ぼす紫雲も自て浸定・ 「腹さの関係はさう間影には片附きません、健康のコ 水屋 さいつて非常に大き ズンが近よってなりま さてそれは他に受ける感じさして は割り離いものです。そこで水深 は割り離いものです。そこで水深 に無摩に相様を取るのと同様数で に無摩に相様を取るのと同様数で る上からは是非おすゝめもたい事 こさは密明な事ださ思ひます。そ

る場合は一回の時間を五分から十一時のて徐々に黙くするやうに心 全人はいる。 全人はいればなりません。 をでは自分で気防いて海に入りません。 をでは自分で気防いて海に入りません。 ですから脚無の無のもろものなど ふのは標度の脚鎖が原因するもの す、それから側のこぶら返りさい ないまない。

雨期に入り 洋服の始末 先づ汚點拔き

機に、洋服の始末しなさらな をすつぼりかぶせて置

強いて海水浴気分を

高射砲弾丸の値聞いて 非常報忘れた一煌明か 恐々さ解除の報に灯ね 防空で原始にかへる

威

激

行を示せるは酒界のレコー

**韓
曾
日
尚
茂
き
に
不
拘
常
異
的
曾**

酒清

月新譜でデザユーもたテナー上



おいた冷飯庫を出して一番先に満し水ばけはよいか――これはごく夢をてゐるか、冷蔵庫だけは古物をトンン入りがよい。次は極遠い完全か。寒門日は完全に被密に出一答)か、けい高(シリケートコッ は冷部さ外部の継続が継続権は、つたら、フェルトのやうな戦力おぶれなく……会談庫の繁一総営、かです。少しても減つてゐるとどかぶれなく……会談庫の繁一総営、かです。少しても減つてゐるとどのは、かなければならぬのも失趣りこ こんな注意が肝腎 と つたら、フェルトのやうな歌力性 さ はいの 次にいの次にいるがと呼の場とにはりつける へ入れ、足で略みぶひ着物橋より さいて五つに分け、ねるま湯に池 さいて五つに分け、ねるま湯に池

を敷が動げるまで平頼で磨ります。 離療な機質の人なごには海岸より の使のて皮膚を膨赤にし、ひざくなる。 般にかういふ病気のある人や概率 なりのて皮膚を膨赤にし、ひざくなる。 般にかういふ病気のある人や概率 なりですが之も一日中裸物で入りびた た上でその指端に進にないと病験 も、 歴埃 の経い山の上で紫外 下中 木村氏 カリホルニャのな 造なごへ紹介しましたが 上張な女繋が 生れたのであります。 に書いてあたやうだ、さ 派な女繋が 生れたのであります。 に書いてあたやうだ、さ 海外 も特殊な交繋が 生れたので、満洲で も くやうにしなければいより の使命ではないか さ 脱地の女繋 やうに三年に一座か、 東 で し なん、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、先程も繰り返すが ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生でもほり返り返済が ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生でもなり返り返す ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生でも続り返り これは東京にある女曜へ ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生程も繰り返った。 ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生程も繰り返った。 ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生程も繰り返った。 ません、 満銭が明治四十一年頃出 こさです、 生程も繰り返った。 時々私の所にも満洲から原織な送り、州にはよい文學が生れて來ない。

分に含んでゐる気に紫外線をさへ 又海岸の空気は永黙気を多 ふ、土地の人選の生活や環 満洲のためにも大<u>製</u>よい事 ら、浦州にゐる人より東京 女本は二千二百回さか ないかさ思ひます、今ないかさ思ひます、今ないかさ思ひます。 取材したら面白い文明 かの女達は、 こに居つた蝦妓二名が

百般

石界G開祖一年活

地区雪井町五

れた文学でそ様民 のではないかと思

される灯へ都市全域 される灯へ都市全域

防空の最中に女房産会場が落ちて来さう。

防空

シアに対するというのが、日本では、 存 油 かどや

學校の成績 できない時にはスグ 質が順くボンヤリと どこの機匠にもあり をのんで下さい◆選

X 整形外科 七月一日上庭 歌に生き悪に生きのわたの

世界中の人から 木村毅氏を繞る座談會 これが、移民地文學への しまれる テレヴィジョン





10

大一リ通斬山市進大 一三ノ二町山南寿城市

内ノ丸軍東

三二が十四(6分)三一六の十四

日本模院春季大手合戰論先 員 黑田 幸雄

對局者の言葉

現に角百二十八ミツイで居

夏以來米園各地の野島地で非常に流行してるます。でダアルス決勝較で優勝したラ・シェル夫人、チャンスラー嶼和の動機振りです。パドミントンは昨

午後の部

パドミン選手權大會 アスロンで行はれた加州女子パドョントン選手權大能

大連(ゴマムド) 一時の部

四・一〇 野球試合質況―中央公 二・〇〇 四・一〇 野球試合質況―中央公 二・〇〇 事業公第一回戦シ擦常アナウンサ 四・〇〇 八・〇〇 大・〇〇

米國獨立祭慶祝國際放送

(可認物便等相三第)

衆冠は何

京城、八幡、東京が優勝候補か

で野球を語る

^鐁特別夫棋戰

其

今年の都市對抗豫想

九九 五四四

B E

▲▲ ▲ 六九•九 二五•四

る 永森に 活 生

コーヒー ガーとしシロップ 成为 第七七大學 第

の形が、歌戦の宝に 森永製菓株式會社果工部

MIL

永チョコ ij 力













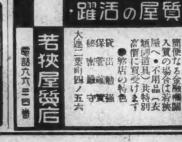


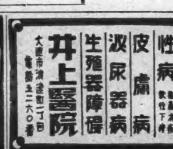


特料 平











股鈴木爲次

郎著



【新京特電四日發】 縣遊極的

・国域に於て長期間皮防波者を燃放り北五間東赤軍は最高機関の意に基いて燃放以北五間

ななし、その他屋秋以北スラピヤンカ、

北隅地において用意

新京防空デ

大汽の龍嶋丸

洋酒

品製社會スピルカ カ

三五〇〇〇

• 一六一五壺

カルピス 三大大化戦闘語 Discook

活情水道で遊

食和洋 莨料洋莨

盛況裡に終る

に取る金ボシエ

煙秋バラバン間の道

電無目動砲數門で多

「新京特體四日發」新京初の防空

古する事となり三日左の通り海軍、部に於て斉能館を談置と腹頭に郷

神北丸、西野丸な現場に急行さ 地域に変数してサルページ 監戒 ・変数してサルページ 監戒 ・変数してサルページ 監戒 ・変数してサルページ 監戒 ・変数してサルページ 監戒

百貨

金二 圓河 買、上海に常器座入場等贈呈目下量中贈答品・夏の飲料品陳列會開催中

連鎖街

星

御

に

は

實用的

21

L

て氣品

あ

る

洋行の

お菓子

好適品店內山積

通

林洋行

菓舖

合の下に盛大なる家族で映画の検察堂で撃生教能校一千三百名

國境の脅威益々

露領煙秋方面で

長期攻防演

五月七

「君識は獣のやうなし

行、翻

一家識って

+工用短刀ご古ゴザも發見 男躍する捜査本部

兇器と覺しき手工用短刀と茣蓙とが發見され、底知れね謎に包まれてゐた怪殺人た左足赤短靴を警察犬/高千穗/が衝へ出し、續いて泥中に埋もれてゐた犯行用の大捜査を試みたところ果して午後三時に至り被害者のものと思はれる泥にまみれ來大連署捜査本部では頓に活氣づき、三日午後警察犬二頭を暗渠内に放ち最後の五里霧中にあつたマンホール殺人事件の『 資線上に謎の鍛冶職二人が登場して以五里霧中にあつたマンホール殺人事件の『 資線上に謎の鍛冶職二人が登場して以 事件の解決に一大光明を投げるに至った。

二日 (金曜日) 附大

州生は歸郷、生存の報

皿液の判定は不可能

び五里霧中

『チチハル四日養園語』(株) 1月品版 地名 | 観覧者主催の動物が取け去る三十日チチ 加 2 | 別ではまる三十日チチ 加 2 | 別では、 1月品版 | 地名 | 関で者 戦るまで活動を続けた 慰問列車成績

国に動物が重の本日迄の計画大の他は民動を が四日午前八時半野・気流線の住民 が四日午前八時半野・気流線の住民 はるないのはあきチャルな出数した。 はないであった。映

満鐵に委任經營

、ビーカー試験を 満電々機謀では今年ペピー自動 を表して行る事になった、又入日午かた行る事になった、又入日午 かで行る事になった、又入日午かた行る事になった。

曲痛。セロシン(聖器心)日味は疎ら

世界各國酒類

食料品

七月中旬に醫員配置

日間電圏下にて

Joy of the Tasto

御贈答品お選び

四四四三三二二二 五三〇八五八五三 0〇〇〇〇〇〇〇〇

9

店

元

本各地名產

ネッスルチョコレ

かれ 正路院



整形

三時から會議室で開催、雇谷氏外役員な決定する議員會は四日午後 再選後の會顕以下

副會頭は上田、向坊兩氏

外科

が記れる。

女學校水泳

奉天商議會頭

氏

當選

M22227

香水のはかり

今更は更に新さい香りも二種追加 致しました是非引續き御愛用な

ムシムシ こたお寝床に。 お客間にお こばりには御徳用なローション のはかり か 100 ~ 70 より100

畑にた支那人

方 れ等の連中は機械外な日本変化の 中級液果原沙氏は青京中央日線版 からだけでも間壁をは約四百名に かっただけでも間壁をは約四百名に 本の職職者さなつてゐる始来だが 遊し観光戦も十般隊に上つてゐる 長所外船後に遊した 本の職職者さなつてゐる始来だが 遊し観光戦も十般隊に上つてゐる 長所外船後に逃した

一きは排日還りは 日論者 近~着丁

親日の空氣を置らしてゐるさの気情の数様な話に取って日本の気がの数にないました。

帝制記念塔

滿洲生產

月廿日 から奉天で

輪の目的な以て州外に持ち出した。 が開催ではあったが保留の取職へ を表情とは、 の結果、前部降職者が常替的に他 できて特別ではあったが保留の取職へ **性品展覽會** 要喚起に の九大野球部選手一行十一

いて逃走したものである

収調中の車から

飛降り逃走

密輸常習の列車傭人

新京奉天で試合

【東京三日發國通」騙逐艦深雪及 山本大將ら任命 一般官民有志集合のも一時一先づ散會、午後一時一先づ散會、午後

『事天特置三日豊』 満世歌事天 県 ・ 東京の野球戦は三日午後四時年よ ・ 東京の野球戦は三日午後四時年よ ・ 東京の野球戦は三日午後四時年よ

撃を封む來天軍は満一

乗組員を被助してもまつた。 を整なが概を破壊内に乗り入れて を対してもまる。 西野丸が大きな園 はてぬるさ、西野丸が大きな園 はてぬるさ、西野丸が大きな園 はてぬるさ、西野丸が大きな園 はてぬるさ、西野丸が大きな園

對華俱野球戰

を知る者間「成る程……」さ 東門のサルページ戦きへ二の足 か取者は、龍噪丸の縦起間村艦 大郎者の螺に凝るさのこさ、事 大郎者の螺に凝るさのこさ、事

五月は良

國線の事故減少

H **兀贈答品大賣出** 御選定は信用ある専門の 十五日まで 第夏本特等側向び致ます)

電話五一〇九番

00000